



富岡賢治 高崎市長

2人の子どもの父親。2人目の子育てで、育児の楽しさに気付いたと告白

子育ての合間に、気分転換も必要 (富岡市長)

金をかけるようになりましたね。出来合いの商品を買って。
豎山 今の遊びはお金をかけられなくなったり強くなったりしますが、昔の遊びは練習して上達できるような遊びが多い。そういう遊びをさせたいと思います。
市長 私の場合、自分自身も子育てでもそうだったけど、買って遊んだということをしなかったな。友達の家に行くといっぱい遊具があつてうらやましかったけど。でも、ぜいたくをしないというプラスもあると思いますね。
豎山 今の子どもたちは、自分たちが小さいときには食べていなかったような物を食べています。
市長 回転寿司に行くとか、小さい子が大トロとかを注文したりして、ちょっと違和感を感じますよね。それから子育て世代のお父さんお母さん

んが先回りしている傾向も気になりますね。神経質になっちゃうこともあるだろうし。
木幡 そうですね。周りのお子さんが習い事をしているから自分の子もさせなくちゃとか、あそこの教室がいいとか。
市長 インターネットなどからの情報量が多いのも良し悪しですね。子育てについて相談するときは誰にするの？
木幡 お友達のお母さんが多いですね。送り迎えのときとか...。
豎山 同世代の親との情報交換が多いですね。
市長 私も下の子は幼稚園に送って行った。幸せの瞬間だったね。でも、子育てだけに夢中になっていると気持ちが減入っちゃうこともある。映画を見たり、音楽会に行ったり、気分転換は大事ですよ。必要なときに子どもを預けやすい仕組みがあるといいと思っています。
木幡 そうですね。親の気持ちはすぐに子どもに伝わるので、気持ちの余裕は大切だと思います。
市長 子どものためにも、少しは親と離れる時間が必要だと思います。
豎山 うちの子は保育園に通っています。園にいる時間が長いので、休みの日はできるだけ一緒にいるように心がけていますね。
市長 高崎の子育て環境で気になることはありますか？

子どもはのびのび育てたい。農業体験もさせたいですね
(木幡さん)

木幡 私は子育て世代が多い住宅地に住んでいるので、3人お子さんがいる方も多いです。高崎は3人目の保育料が無料なので、そういう政策を幼稚園にも広げていただけると、より子育てしやすいまちになると思います。
豎山 私はやっぱり子どもが安全に遊べる場所が欲しいですね。極端に言うともう子どもだけでも遊びに行けるくらいの環境があるといいですね。
市長 保護者の希望も多様化してきますよね。要望に応えられるよう弾力的な運営が必要だと思います。それから学校以外でも活動できる仕組みが必要ですね。自然の中に子どもを連れて行ったり、スポーツ活動をしたり。例えば、親と1週間くらい離れて山の中で生活するとか。子どもはたくましくなりますからね。

豎山 私も小学校低学年のとき、夏休みに2週間くらい上野村にキャンプに行きました。
市長 親元を離れて自然体験をする。いいと思うんだけど。ちよつと大変だけどもね。
木幡 親としても勇気が必要だと思います。でも群馬は自然が豊かなので、自然の中ののびのび育ってほしいと思っています。
豎山 もちろん文武両道が理想ですけど、誰とでも仲良くできて元気がいいのが大事だと思いますね。
市長 私も賛成です。子どもをのびのびと育てるためには大人も工夫をしないとね。スポーツをして汗をかくて発散することも大事。小学校高学年になったら倉渕や榛名で農業体験をさせる仕組みも考えています。
木幡 子どもにはぜひ農業体験をさせたいですね。土に触れる経験は必要だと思います。
豎山 子どもは自分で作った野菜は好き嫌いなく食べるんですよね。食べ物を作る大変さも、子どもに体験させたいですね。
市長 これからの時代は、パソコンを使った先進的な教育も必要だけど、農業などの体験もますます重要になると思う。両方やっていかないとね。今日はありがとうございました。
木幡・豎山 ありがとうございます。



今回のテーマ 高崎市の子育て環境

市民と市長が高崎のさまざまなテーマで語り合う「ほっとタイム」。新春対談のお相手は、市内の幼稚園と保育園に通う園児の保護者、木幡 香さんこわた かおりと豎山裕己さんたてやま ひろきです。
 高崎の未来を担う子どもたちを育てるお2人に、育児や子どもの教育などについてお聞きしました。



練習で上達できる昔の遊びも教えたい。 (豎山さん)

市長 お正月はお子さんを連れてどこかへ出かけたりしますか？
木幡 子どもがおじいちゃん、おばあちゃんの家が大好きなのでお互いの実家に行き、ゆっくり過ごします。
豎山 私も遠くには出かけず、正月はゆっくりしています。それぞれの実家へ行き、のんびりしています。
市長 子どもたちはどのように過ごしているのかな。昔は羽子板やベীগマなんかで遊んだもんだけど。お正月に友達同士で遊ぶなんていうことは地域ではないのかな？
木幡 見かけないですね。たこ揚げもしないし。
豎山 昔の遊びには、今の遊びにはない良さがありますよね。昔の遊びが見直されてきていると感じています。
市長 子どもが少なくなっていることもありますが、最近では子どもの遊びにもお



豎山裕己さん (飯塚町)
 保育園年長の男子の父親。自身も積極的に育児に関わる「イクメン」。高崎市保育協議会保護者会会長